

令和4年度 第1回鹿島市地域公共交通会議・鹿島市地域公共交通活性化協議会 合同会議

日 時：令和4年6月29日（水）14時30分～15時45分

場 所：鹿島市役所 5階 大会議室

参加者：別紙のとおり

司会進行：企画財政課長

1. 開会 企画財政課長

2. 委嘱状の交付

委員を代表して、市区長会代表の中西裕司様へ委嘱状の交付

3. 役員を選出

要綱及び規約により市長が本会の開庁を務める

副会長1名、監事2名については、委員の中からの互選となっており、事務局からの提案でよいかを尋ねる

（委員より異議なしの声あり）

委員の任期は2年（令和4年4月～令和6年3月）であり、委員が任期中に変わられた場合でも役員は団体に帰属するものとする。

会長 松尾市長

副会長 区長会 中西様

監事 商工会議所 有森専務理事、都市建設課 堀様 で承認

4. 会長のあいさつ

5. 報告

（1）これまでの経緯について

（2）循環バス、のりあいタクシー等の運行状況について

（3）グリーンスローモビリティ実証運行事業について

【事務局から（1）（2）（3）を合わせて説明】

【質疑・応答】

委員：循環バスの運賃はなぜ当初は200円だったのか。

事務局：運行を行う上で収支や運営状況等から当初200円と設定しておりましたが、利用者が少ないことから路線の見直しや運賃改定を行っております。

委員：新しい事業を始めるときには、注目を浴びるような料金設定をしてほしい。経費面だけでなく、料金の設定については慎重にしてほしい。運賃の値上げだけでなく、利用

者を増やして採算を合わせるなど考えてほしい。

委員：グリーンスローモビリティというのが分からないが、これは前回の議題に挙がっていたか。

事務局：今回初めて報告事項として挙げています。

委員：面白い事業だと思う。無料ということだが、期間が限られている。イベントのみで運行するような形か。

事務局：約1か月間を実証運行期間として設定しており、ラムサール条約推進室で行うものです。実証運行期間終了後は、再耕庵タクシー様で再度実証運行を行い、本運行を行うように調整しています。

委員：導入を前提に運行するのか、今後の見通しはどうなっているのか。

委員：再耕庵タクシーです。10月から11月の実証運行は、市が車両をレンタルし、弊社で運行します。借りれる期間が11月6日までとなっています。私が観光庁の事業に申請をしており、車両の導入が出来そうなので、再度実証を行った上で、本運行に移ろうかと考えています。来年の2月までに実証運行をし、本運行に移る。その際の車両は弊社の購入という形になります。

委員：有料になるのか。どれくらいの設定になるのか。

委員：最初の1~2か月は実証運行で、有料ではあるか低価格とする予定。現在の高津原線の料金くらいで走らせたいと思っているが、そのあとは運賃は未定。単独で運行するよりもイベント時に運行するという事を考えています。

委員：まちの魅力になり、活性化にもつながるので、市民だけでなく第三者も含めて運行を取り組んでいただきたい。

6. 協議

(1) 高津原のりあいタクシーの運行経路の延長及び停留所の廃止（案）について

【事務局から説明】

【質疑・応答】

委員：新しく出来た病院は通らなくてよいか、前回の会議の時にも尋ねていたが、病院としては要望をしていないということであったが、今回もそれを前提として設定したと考えてよいか。

事務局：吹上地区の方がかんらんまでは遠いといった要望があっていたため延長しています。病院からは意見は特段なかったため、今回の延長には入っていません。

委員：もし病院から要望があった場合は、対応してほしい。

承認

(2) 令和5年度地域内フィーダー系統確保維持計画(案)について

【事務局から説明】

【質疑・応答】

委員：要点を伝えてもらえたら。

事務局：フィーダー補助として現在運行している循環バスやのりあいタクシーの数値目標を設定し、その目標を達成するために行う事業としては令和4年3月に策定した鹿島市公共交通計画に基づいて記載しています。運行にあたっての運行予定者を市内事業者の祐徳自動車様と再耕庵タクシー様を設定しています。また、それぞれの起点終点をまとめています。

委員：稼働率が悪い路線がまだ残っているのはなぜか。

事務局：予約型のりあいタクシーは、元々路線バスが走っていましたが、バスを廃止するにあたりのりあいタクシーを導入しています。運行回数を設定していますが、実際予約が入らないと運行しないという部分もありますので、バス路線を廃止した代わりとして残しています。

委員：古枝線は稼働率が高いですが、子どもたちが卒業してもこれだけ高い稼働率は維持できるか。

事務局：平日の第1便で小学生が通学に利用しているため稼働率が高い。高齢者の方は月に2～3回程度の利用であるため、卒業後は能古見線と同じくらいの稼働率になるかと思えます。

委員：予約型が走っているということは浸透しているが、細かなことは分かっていない。時間やルートなど。

委員：循環バスが東部地区を走っていないのはなぜか。肥前浜駅は重要なポイントになる。県道を走る路線バスはあるが、浜駅までくるようなバスはないのか。市民向けの利便性というよりも観光的な要素が強いが、これは今回の計画の目的外になるか。

事務局：公共交通計画の中では観光利用や周遊を想定した公共交通の導入や利用促進を上げていますので、今後バスが通るのかも含めて検討していく必要がありますが、今回の生活交通確保維持改善計画に関しては、観光よりも生活交通の維持という面での交通計画となるので、浜方面は設定していません。

委員：他の県には駅から市役所まで直通で行けるバスがあった。路線バスではなく100円で行くことができた。そういうことも視野に入れて、現在の乗車人数を増やすには、鹿島に来た人の利便性を上げるために、利用できるような体制作りまで頭に入れていたほうがいいかと思う。

会長：市民の方からも浜方面にという声も出ておりまして、運行計画を路線バスも含めて、今後考えていく必要があると思います。

委員：七浦小学校の西川と申します。東部地区方面の路線があまりないということでしたので、付け加えて意見を述べます。現在、七浦小学校に勤めており、東部方面の交通の

便の不便さを身に染みんでいます。西九州新幹線が開通した後は、鹿島駅よりも先の便がずいぶん減便されます。通学の時間等については確保してくださると思いますが、それ以外の時間帯についてはだいぶ減便されるものと思われます。通常の間で投稿できる場合には問題がないが、事情により時間がずれた場合に公共交通機関を使うことができない。保護者の中にも新幹線が開通したあと、どのくらい不便になるのか掴みきれないという声が出てきています。七浦方面についてもこれから先計画をしていただけないかと思ひます。

それともう1点、鹿島高校があります。朝の通学の様子を見ると、以前から保護者による送迎が非常に多い。やはり不便だからだと思ひます。JRを利用してくる生徒は鹿島駅でおりて、自転車や徒歩なりで通学をしている。子どもの数が減り、鹿島高校の志願率があがってきた。鹿島高校をこのまま存続させるためには、生徒に来てもらう必要がある。そのためには、鹿島高校に来る選択の理由の一つとして、鹿島駅から鹿島高校までに交通機関があり、楽に来れるといったウリがあれば他地区からも希望してくれる人が増えるのではないかと思ひます。交通機関として高校の利用がしやすいといった手立てが必要ではないかと思ひます。

事務局：西九州新幹線の開通に伴う列車についてですが、先日特急は14本に減るということで発表されました。普通電車についてはまだ確定ではないが、現状維持にプラス上下3本増ということで、時間帯についても極力今の時間帯どおりに運行するということがJR九州様から聞いております。それについても、長崎までの直通が無くなるということでバスを走らせるのかどうかは今後の検討課題になるかと思ひます。

鹿島高校生でも電車通学が結構いらっしやいます。循環バスで便があり、西回りでバスセンターから7:55発に乗ると、高校前まではいきませんが、道場前(参道会前)もしくは鹿島小学校前で8時前に停まりますので、ぜひ利用していただきたいです。鹿島高校へ上っていく道も狭いので、循環バス等を利用していただければと思ひます。

委員：再耕庵タクシーです。高津原のりあいタクシーの導入当初は、ジャンボタクシーで回っていて、鹿島高校線があった。高津原1便目の前に駅から高津原公民館まで行く路線で、鹿島実業経由の鹿島高校の前まで行く路線でしたが、低迷し廃止したという経緯があります。雨の日以外はほとんど利用がなかったため、もしそういった要望があれば、上ることもできますので、復活させるという手もあるのではないかと思ひます。

承認

(3) 令和5年度事業計画(案)及び予算(案)について

【事務局から説明】

【質疑・応答】

特になし

承認

(4) 市内循環バス、高津原のりあいタクシー及び予約型のりあいタクシーの無料運行期間の実施(案)について

【事務局から説明】

【質疑・応答】

特になし

承認

事務局：議事は終わりましたが、この協議会において可決された事項で、行政庁の指導等を含め、字句など軽微な修正が必要となった場合は、会長一任によりこれをなすことができるものとする付帯決議の承認をお願いします。

承認

7. その他

(次回開催予定) 令和4年11月開催予定

会長：先ほど話があっておりましたが、9月23日に九州新幹線が開通して、この地域の交通利便性が低下をする、それがこのまちの公共交通にこの場所に影響を及ぼしてくると思いますので、今後皆さんとぜひ協議を進めたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

8. 閉会 企画財政課長